

## くりはら魅力化プロジェクト 地域の課題の解決策を考える

第1学年

総合的な探究の時間 16時間

第2学年

総合的な探究の時間 10時間

か  
か  
わ  
る

### <本時のねらい>

地域の課題の解決に取り組むことで、自己の生き方や社会貢献のあり方を考える。

も  
と  
め  
る

### 志教育の視点

- 栗原市の抱える課題やその解決策について興味・関心を持つ。「かかわる」
- メンバーと協力して、課題の解決策を出し合い、その妥当性を討議する。「もとめる」
- 栗原市の抱える課題の解決策をまとめ、コンソーシアム委員へ発表する。「はたす」

は  
た  
す

### <学習の流れ>

#### (1) アイディアの出し方、まとめ方を学ぶ。

- ① 「くりはら魅力化プロジェクト」の内容と目的を理解する。
- ② ブレインストーミングとKJ法を学び、練習する。

#### (2) 自分たちが考えた地域課題について解決策を出し合い、妥当性を討議する。

- ① 地域課題のうち、興味に従ってグループに分かれる。
- ② グループごとにブレインストーミングで解決策を出し合う。
- ③ グループごとにKJ法で解決案を整理し、その妥当性を討議する。

#### (3) 課題の解決策をまとめ、発表会で解決策を説明する。

- ① グループ内で分担し、解決案をまとめ文章化する。
- ② 発表会において解決案を説明し、質疑応答を経て見直しをする。
- ③ 解決案をまとめ、完成させる。



### 夢をはぐくみ志に高める手だて

地域の課題の解決する方策を考えることで、地域との関わりを深めるとともに、自分がどのような形で貢献できるかに目を向けさせ、よりよい生き方を求める姿勢を育てる。

## 岩ヶ崎高等学校 オープンキャンパス

生徒会役員・第2学年有志  
教育課程外 6時間

か  
か  
わ  
る

も  
と  
め  
る

は  
た  
す

### <本時のねらい>

7月に行われる中学生とその保護者対象の学校説明会の中で、在校生との懇談会を企画・運営し、当日会場への案内を始め、司会・説明・質疑応答をすることで、本校入学を希望する中学生やその保護者に情報を提供し、その経験を生かして学校生活をより豊かなものにしようという意欲をもつ。

### 志教育の視点

- 本校を志望する中学生とその保護者に本校の様子や学校生活を分かりやすく伝える。「かかわる」
- 学校紹介のプレゼンテーションではパワーポイントを使用し、担当する生徒が中学生に伝わりやすいように内容を工夫する。「もとめる」
- 後輩となる中学生に対し、高校入学後はこのような姿になるのだというイメージを持たせ、同時に勉強や中学校での活動を頑張らなければならないという模範となるようなロールモデルであることを自覚させ、自らの高校生活をさらに充実したものにしよう促す。「はたす」

### <オープンキャンパスまでの流れ>

#### (1) 学校紹介の説明方法を考える。

- ① わかりやすく効果的に伝わる内容を考える。
- ② 親しみの持てるような話し方を工夫する。

#### (2) 中学生との懇談会の内容を考える。

- ① 6地区に分かれ、学校生活について説明する。
- ② 中学生が質問しやすいように、小グループに分かれる。



### 夢をはぐくみ志に高める手だて

中学生やその保護者と関わることで、よい手本となるためにより高い志をもって生きようとする態度を育てる。